

4 筋弛緩薬

1) 非脱分極性筋弛緩薬

エスラックス[®] ロクロニウム
Eslax (25 mg/2.5 ml, 50 mg/50 ml) *rocuronium*



- 【用法・用量】**
- ・初回量（通常）：0.6 mg/kg（上限量：0.9 mg/kg）
 - ・追加投与：0.1 ~ 0.2 mg/kg
 - ・持続注入時：7 μ g/kg/分で開始
- 【注 意】**
- ・持続注入時は、筋弛緩モニタを行い速度調節
 - ・用量依存性に効果持続が延長するため、初回量 0.9 mg/kg では特に注意
- 【特 徴】**
- ・脱分極性筋弛緩薬なみの効果発現時間
 - ・セボフルラン併用では作用持続が延長
 - ・[作用発現] 60 ~ 90 秒
 - ・[作用持続] 20 ~ 30 分
 - ・[尿中排泄] 30 %
 - ・[胆汁中排泄] 70 %
- 【禁 忌】**
- ・重症筋無力症、筋無力症候群

マスキュラックス[®] ベクロニウム
Musculax (4 mg, 10 mg) *vecuronium*



- 【用法・用量】**
- ・初回量：0.08 ~ 0.1 mg/kg 静注
 - ・必要に応じ：0.02 ~ 0.04 mg/kg 追加
 - ・排泄半減期：11 分
 - ・作用持続：20 ~ 30 分
 - ・尿中排泄：15 ~ 30 %（腎機能障害患者でも注意）
 - ・胆汁中排泄：40 ~ 50 %
- 【相互作用・副作用】**
- ・心血管系への相互作用ほとんどなし
 - ・ただし、フェンタニルと併用すると徐脈傾向

ミオブロック[®] パンクロニウム
Mioblock (4 mg/2 ml) *pancuronium*



- 【用法・用量】**
- ・初回量：0.08 ~ 0.1 mg/kg 静注
 - ・必要に応じ：0.02 ~ 0.04 mg/kg 追加
 - ・作用持続：45 ~ 60 分
 - ・40 %が未変化のまま尿中排泄
- 【特 徴】**
- ・迷走神経遮断作用あり（頻脈、高血圧）
 - ・特に、心疾患、循環血液量減少患者では注意